

平成27年度施策評価シート

<1.施策の概要>

施策 No.	2111	施策名	充実した学校教育が受けられるまち	主 担 当 課	学校教育課
大項目	心豊かな人づくり				
基本 方針	子どもたちが安心して学習できる環境づくりを行います。 また、幼児期からの発達段階に応じた指導・支援の充実を図り、確かな学力の向上・豊かな心の育成・たくましい体を持つ子どもの育成を進めていきます。 そして、子どもたちが自己の夢の実現に向け、一人の自立した人間として努力し、他者と協働しながら自信をもって生きていくことができる学校教育を推進します。さらに、保・幼・小・中が連携した教育を進め、将来を担う社会人を育てます。			関 係 課	教育総務課
					生涯学習課
					学校給食センター
					子育て支援課

<2.施策を構成する事務事業の概要>

1	情報教育推進事業											
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)			意図(どのようにしたいのか)									
児童・生徒			ICT機器を活用した授業により、児童生徒の学力向上を図る。 発達段階に応じ、メディアや情報が有効に利用・活用できる能力をつける。			情報教育推進委員会の計画に基づきコンピュータ等の更新を行う。普通教室でICT活用授業が実施できる環境・体制づくりを行う。児童生徒の情報活用能力を育成する実践や情報モラル教育の充実を図るために教員研修を実施したり環境・教材を整備したりする。						
平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			
取組内容			●情報モラル教育の積極的な推進 ・教育研修所の情報教育部会における指導法の研究 ・市教委による情報モラル教育に関する研修会 ・実物投影機の配備拡充(小学校)			・各教科・領域等で「情報活用能力」を育成する実践の普及・啓発 ・教員のICT活用指導力・授業力の向上 ・ICT活用授業日常化のための機器整備事業 ・実物投影機の整備拡充(中学校)			・各教科・領域等で「情報活用能力」を育成する実践の普及・啓発 ・教員のICT活用指導力・授業力の向上 ・小学校へフラッシュ教材を整備 ・小中学校に道徳の時間に活用できる情報モラル教材整備 ・ICT活用授業の定着			
直接 事業費	決算額	25,138	千円	決算額	24,605	千円	決算額	15,778	千円	決算額	35,047	千円
	うち 一般財源	18,838	千円	うち 一般財源	22,205	千円	うち 一般財源	15,778	千円	うち 一般財源	35,047	千円

2		生徒指導・進路指導総合推進事業											
事務事業の目的						事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
幼児・児童・生徒		生徒指導上の諸問題に対して、専門家や関係機関と連携しながら対応するとともに、未然防止の観点から早期支援を充実させる。 キャリア教育の視点で職場体験等を位置づけ、長期的・総合的な進路指導を充実させる。				・スクールサポートチームを編成し、関係機関と連携しながら対応する。 ・スクールカウンセラーや不登校対策支援員等の校内リソースを活用した支援を行う。 ・子育て支援課と連携しながら、就学前からの支援を行う。 ・教育相談室・教育支援センターへのカウンセラーの配置を充実をさせる。 ・市内全中学校の2年生を対象に、職場体験を実施する。 ・職場体験やオープンスクールへの参加等をキャリア教育に位置づける。							
		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度					
取組内容		●いじめ対策専門指導員の配置 ●いじめのない集団づくり研究協議会での研究・実践 ●関係機関と連携したチーム対応 ●教育相談室等相談体制の充実 ●情報モラル教育の積極的な推進 ●スクールカウンセラー等や関係機関の積極的な活用 ●早期からの個に応じた支援体制組織の確立と活動 ●巡回カウンセラー等の活用と連携 ●教育支援センターを中心とした教育支援事業		⇒		●いじめ対策専門指導員の配置 ●いじめのない集団づくりの実践 ●関係機関と連携したチーム対応 ●教育相談室等相談体制の充実 ●スクールカウンセラー等や関係機関の積極的な活用 ●早期からの個に応じた支援体制組織の確立と活動 ●巡回カウンセラー等の活用と連携 ●教育相談事業の推進		●いじめ対策専門指導員の配置 ●不登校対策アドバイザーの派遣 ●いじめのない集団づくりの実践 ●心理検査ハイパーQUの活用 ●関係機関と連携したチーム対応 ●教育相談室等相談体制の充実 ●スクールカウンセラー等や関係機関の積極的な活用 ●巡回カウンセラー等の活用と連携 ●教育相談事業の推進					
直接事業費		決算額	8,590	千円	決算額	11,064	千円	決算額	15,573	千円	決算額	16,779	千円
		うち一般財源	1,556	千円	うち一般財源	5,447	千円	うち一般財源	13,010	千円	うち一般財源	11,152	千円

3		確かな学力・豊かな心育成事業												
事務事業の目的					事務事業の内容									
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)												
幼児・児童・生徒		それぞれの発達段階に応じた教育活動を意図的、計画的に実践することにより、確かな学力と豊かな心の育成を図る。			・笠岡市「確かな学力」育成プロジェクトを核として、学校と家庭、地域が一体となった取組を推進する。 ・「学力・学習状況改善プラン」に基づいて、段階的・具体的な取組を行う。 ・放課後や休日に地域人材を活用した補充学習の機会を設けたり、理科支援員を配置したりして、児童の基礎学力の定着・授業の充実を図る。 ・外国語指導助手を増員し、外国語教育(外国語活動)の充実を図る。 ・総合的な学習の時間等の充実を図り、体験的な活動をとおして豊かな心を育成する。									
		平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			
取組内容		●「確かな学力」改善プランの推進と検証 ・取組の重点:「わかりやすい授業」 ●教科等研究委員会の研究に基づいた取組 ・外国語指導助手を活用した授業の充実 ・観察・実験等を重視した指導の充実 ○豊かな心を育成するための施策の体系化 ●休日・放課後の学習会開催、理科支援員配置			●「確かな学力」改善プランの推進と検証 ・取組の重点:「わかりやすい授業」 ●教科等研究委員会の研究による研究及び指針の活用 ・外国語指導助手を活用した授業の充実 ・観察・実験等を重視した指導の充実 ○豊かな心を育成するための施策の体系化 ●休日・放課後の学習会開催、理科支援員配置 ●学校規模の適正化のための協議			●「確かな学力」改善プランの推進と検証 ・取組の重点:「ICT活用による指導方法の工夫改善」 ●教科等研究委員会の研究による研究及び指針の活用 ・外国語指導助手を活用した授業の充実 ・観察・実験等を重視した指導の充実 ○豊かな心を育成するための施策の体系化 ●休日・放課後の学習会開催 ●笠岡市教育審議会答申を踏まえた学校規模適正化計画書の作成・公表			●「確かな学力」改善プランの推進と検証 ・取組の重点:「ICT活用による指導方法の工夫改善」 ・外国語指導助手を活用した授業の充実 ・観察・実験等を重視した指導の充実 ○豊かな心を育成するための施策の体系化 ●休日・放課後の学習会開催 ●笠岡市教育審議会答申を踏まえた学校規模適正化計画書の説明会の実施			
直接事業費		決算額	57,100	千円	決算額	49,902	千円	決算額	61,282	千円	決算額	47,728	千円	
		うち一般財源	52,859	千円	うち一般財源	46,702	千円	うち一般財源	49,463	千円	うち一般財源	43,664	千円	

4	幼児教育推進事業																						
事務事業の目的						事務事業の内容																	
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)																					
幼児・保護者・教職員		幼児の健やかな心身の成長を助長するために、教職員や保護者、幼児教育関係機関等が一体となって、子育て支援を行っていく。				・教育審議会の答申に基づき、保護者の要望や地域の状況に応じて、平成24年度から全園で3歳児保育を実施することとした。 ・子育て支援課と連携した「4歳児発達支援事業」の充実を図り、その充実を図る。 ・園が保護者や地域に意図的・計画的に学びの場や相談の場を設定して、子育て力の向上を図る。 ・幼と小の教職員の交流や子どもたちの交流活動を推進し、幼と小との円滑な接続を図る。																	
平成23年度 取組内容 ●幼稚園教育・施設の充実 ・3年保育の実施と充実 ・3年保育希望園の実態把握 ・3年保育実施園を1園増(8→9園へ) ●家庭教育の充実 ●幼稚園と小学校との連携 ●子育て支援課と連携した「4歳児発達支援事業」の実施																							
平成24年度 取組内容 ●幼稚園教育・施設の充実 ・3年保育の実施と充実 ・3年保育希望園の実態把握 ・3年保育実施園を1園増(9→10園へ) ●家庭教育の充実 ●幼稚園と小学校との連携 ●子育て支援課と連携した「4歳児発達支援事業」の実施 ●園規模の適正化のための協議																							
平成25年度 取組内容 ●幼稚園教育・施設の充実 ・3年保育の実施と充実 ・預かり保育及び給食実施についてのアンケート調査 ●家庭教育の充実 ●幼稚園や保育所(園)と小学校との連携 ●子育て支援課と連携した「4歳児発達支援事業」の実施 ●幼保一体化に係る関係課の協議																							
平成26年度 取組内容 ●幼稚園教育・施設の充実 ・3年保育の実施と充実 ・子育て支援アンケート調査 ●家庭教育の充実 ●幼稚園や保育所(園)と小学校との連携 ●子育て支援課と連携した「4歳児発達支援事業」の実施																							
決算額		3, 150		千円		決算額		3, 279		千円		決算額		3, 097		千円		決算額		3, 013		千円	
うち一般財源		3, 091		千円		うち一般財源		3, 223		千円		うち一般財源		3, 039		千円		うち一般財源		2, 960		千円	

5	学校施設耐震化事業											
事務事業の目的					事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
児童・生徒及び各地域住民		教育環境の安全確保及び地域住民の安全拠点の整備を行う。(学校施設耐震化率100%が最終目標)			＜耐震補強工事＞ 中央小学校管理・特別教室棟、今井小学校管理・特別教室棟、金浦小学校屋内運動場、城見小学校屋内運動場、大井小学校教室棟、北川小学校屋内運動場、笠岡小学校屋内運動場、大島中学校屋内運動場、北木中学校屋内運動場 ＜耐震補強工事実施設計委託＞ 大島東小学校教室棟、吉田小学校教室棟、今井小学校屋内運動場、神島外小学校屋内運動場、笠岡小学校教室棟・便所棟、笠岡小管理・特別教室棟、笠岡東中学校屋内運動場 ＜工事監理委託＞ 中央小学校管理・特別教室棟、今井小学校管理・特別教室棟							
取組内容	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	・耐震補強工事の実施設計 ・耐震補強工事			⇒			⇒			⇒ ＜耐震化工事実施棟数:9棟＞ ＜実施設計棟数:7棟＞		
直接事業費	決算額	318,211	千円	決算額	560,678	千円	決算額	520,527	千円	決算額	380,758	千円
	うち一般財源	121,647	千円	うち一般財源	37,596	千円	うち一般財源	3,427	千円	うち一般財源	55,126	千円

6	学校維持管理業務																			
事務事業の目的						事務事業の内容														
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)																		
園児, 児童, 生徒		学校施設での安全で, 安心な学習・生活環境を確保する。				・教育財産の管理及び取得処分 ・学校施設管理の業務委託 ・学校施設台帳整備 ・学校施設等の建築整備及び国庫補助事務														
平成23年度												平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容	・教育財産の管理及び取得処分 ・学校施設管理の業務委託 ・学校施設台帳整備 ・学校施設等の建築整備及び国庫補助事務					⇒			⇒			⇒ ＜トイレ洋式化工事:5校＞ ＜パソコン教室エアコン設置工事:2校＞ ＜大島小学校教室改造工事＞								
	決算額	158,292		千円		決算額	148,458		千円		決算額	163,452		千円		決算額	169,301		千円	
直接事業費	うち一般財源	156,300		千円		うち一般財源	147,851		千円		うち一般財源	162,215		千円		うち一般財源	120,071		千円	

7	特別支援教育推進事業											
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
幼児・児童・生徒		「特別支援教育推進計画」に基づいて、発達障害等、障害のある幼児・児童・生徒の教育的ニーズを早期に把握するとともに、関係機関と連携しながら、幼児期からの一貫した継続的・総合的な支援体制の充実を図る。				・幼稚園や保育所の集団生活において困り感のある幼児を把握し、支援を行う。 ・就学時等に連絡会を実施し、関係者が情報を共有しながら継続的な支援を行う。 ・教育相談室に巡回カウンセラーを配置し、ケースに対する専門的なアドバイスを行う。 ・幼稚園と小・中学校における組織的な支援を充実させるため、教育支援員を配置する。 ・笠岡学園等の協力を得て、幼稚園教諭、保育士等の研修会の充実を図る。 ・長期的・継続的な支援を充実させるため、相談支援ファイル等について検討する。						
		平成23年度		平成24年度		平成25年度			平成26年度			
取組内容	●子育て支援課と連携した「4歳児発達支援事業」の実施 ・個別支援シートに基づく、具体的な支援 ●発達障害に関する巡回相談 ・巡回カウンセラー、教育支援員の拡充 ●非常勤支援員の配置 ・コーディネーター、教育支援員の研修 ●特別支援チームによる関係機関と連携した対応 ・相談支援ファイルの様式の検討		⇒		⇒			●子育て支援課と連携した「4歳児発達支援事業」の実施 ・個別支援シートに基づく、具体的な支援 ●発達障害に関する巡回相談 ・巡回カウンセラー、教育支援員の拡充 ●非常勤支援員の配置 ・コーディネーター、教育支援員の研修 ●相談支援ファイルの見直しと青年期・成人期の作成				
					●個別の支援計画や指導計画の作成 ・相談支援ファイルの活用状況の把握							
直接事業費	決算額	28,076	千円	決算額	30,483	千円	決算額	25,519	千円	決算額	24,689	千円
	うち一般財源	18,426	千円	うち一般財源	30,483	千円	うち一般財源	25,519	千円	うち一般財源	24,589	千円

8	学校給食センターの建設											
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
児童・生徒・教職員		新しい学校給食センターを早期に建設し、より安全でおいしい給食を提供する。				学校給食衛生管理基準及び大量調理施設衛生管理マニュアルに沿ったセンターを早期に建設し、児童生徒により安全・安心で、児童生徒の栄養バランスのとれたおいしい給食を提供する。また、新しいセンターができるまで老朽化している現施設を使用することになるため、現施設の適切な維持管理に努める。						
	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容	●新しい学校給食センター建設			●新しい学校給食センター建設			●新しい学校給食センター建設 ・整備スケジュールの見直し ・建設予定地の選定			●新しい学校給食センター建設 ・導入可能性調査の実施		
直接事業費	決算額	4,200	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	6,490	千円
	うち一般財源	4,200	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	230	千円

9	保健体育・安全教育推進事業												
事務事業の目的						事務事業の内容							
対象(誰を)			意図(どのようにしたいのか)										
園児・児童・生徒・保護者			危機管理体制の確立、保健体育・安全教育及び食育と学校給食の充実を図り、健康・安全で安心して生活できる学校づくりを推進する。			・学校・保護者への緊急情報配信システムを運用し、不審者情報を共有する。 ・子どもの望ましい食習慣の形成のため、食育の推進を図る。 ・食物アレルギーをもつ子どもの給食についてできるかぎりの対応をする。							
		平成23年度		平成24年度		平成25年度			平成26年度				
取組内容		・緊急情報通信システムの管理と活用 ・武道用具の整備 ・食育に関する研究委員会における研究成果の周知 ・栄養教諭を中核とした食育の推進 ・学校給食における食物アレルギーへの対応		・緊急情報通信システムの管理と活用 ・学校給食における食物アレルギーへの対応		⇒ ・栄養教諭による食に関する授業の実施			・緊急情報通信システムの入れ替えと活用の促進 ・栄養教諭による食に関する授業の実施 ・学校給食における食物アレルギーへの対応				
直接事業費		決算額	31,744	千円	決算額	28,059	千円	決算額	30,022	千円	決算額	30,080	千円
		うち一般財源	29,452	千円	うち一般財源	25,550	千円	うち一般財源	28,586	千円	うち一般財源	28,698	千円

10	教職員研修事業											
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
教職員		子どもたちの人間形成の指導と援助のため、教育課程を把握し、教師の力量を高め、よりよい指導の在り方を求める。				・市内全教職員で自主的な研修組織「教育研修所」を組織し、それぞれで部会を組織し、授業研究を中心とした研究に努める。 ・学校を指定して、今日的な教育課題に2か年ないし3か年かけて研究を進める。 ・県教育委員会及び近隣市町教育委員会と連携し、教員の経験年数に応じた研修の企画を提供する。						
		平成23年度		平成24年度		平成25年度			平成26年度			
取組内容		・笠岡市幼・小・中学校(園)食育に関する研究委員会の研究報告 ・研究指定校における研究の推進 ・教育研修所の各部会における研修 ・教育課題に応じた研修		・研究指定校における研究の推進 ・教育研修所の各部会における研修 ・教育課題に応じた研修		⇒ ・パワーアップ研修会(35歳以下悉皆) ・パワーアップミニ研修会			・研究指定校における研究の推進 ・教育研修所の各部会における研修 ・教育課題に応じた研修 ・ICT活用授業の充実に資する研修 ・パワーアップ研修会(35歳以下悉皆) ・パワーアップミニ研修会			
直接事業費	決算額	722	千円	決算額	802	千円	決算額	922	千円	決算額	1,200	千円
	うち一般財源	722	千円	うち一般財源	802	千円	うち一般財源	922	千円	うち一般財源	900	千円

11	就学援助事業											
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
児童・生徒		家庭の経済的理由に左右されることなく学習活動に積極的に取り組める環境を整える				・経済的に困窮している家庭の負担を軽減し、児童生徒の就学を支援する ・へき地に居住する子どもたちへの経済的な支援 ・特別支援教育を必要とする子どもたちへの経済的な支援						
	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容	・支給水準及び支給対象者の認定基準の見直し			⇒			⇒			・支給水準及び支給対象者の認定基準の見直し		
直接事業費	決算額	43,516	千円	決算額	41,353	千円	決算額	40,378	千円	決算額	42,806	千円
	うち一般財源	42,627	千円	うち一般財源	39,988	千円	うち一般財源	39,051	千円	うち一般財源	41,077	千円

12	学校運営支援事業												
事務事業の目的							事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
児童・生徒及び各地域住民		学校(園)の環境整えることで、児童や生徒が授業を受けやすいようにする					学校(園)配当予算の令達・会計事務 教材備品の購入・管理等効率的配置 円滑な学校(園)運営の支援 スクールボート・スクールバスに関すること						
取組内容	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			
	①配当予算の適正化を行った上での予算確保 ②学校(園)のコスト意識の向上 ③事務の効率化、情報化 ④スクールボート民間委託の検討			⇒			⇒			・配当予算の適正化を行った上での予算確保 ・学校(園)のコスト意識の向上 ・事務の効率化、情報化 ・北木小学校スクールバス運行業務を民間委託			
直接事業費	決算額	91,583	千円	決算額	100,883	千円	決算額	99,027	千円	決算額	103,493	千円	
	うち一般財源	91,583	千円	うち一般財源	100,883	千円	うち一般財源	99,027	千円	うち一般財源	103,463	千円	

13	教育委員会業務											
事務事業の目的							事務事業の内容					
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
教育委員会		教育行政の充実と教育委員会の適正な運営を図る。					教育委員会の会議に関すること, 教育委員に関すること, 都道府県教育委員会・市町村教育委員会との連絡調整に関すること					
	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容	教育委員会の開催 教育委員の教育施設訪問 教育委員の先進地視察			⇒			⇒			⇒		
直接事業費	決算額	4,080	千円	決算額	4,070	千円	決算額	4,085	千円	決算額	4,043	千円
	うち一般財源	4,080	千円	うち一般財源	4,070	千円	うち一般財源	4,085	千円	うち一般財源	4,043	千円

14	教育総務管理業務											
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
教育委員会		学校教育・生涯教育・スポーツの各分野に わたり、総合的に教育行政を推進する組織 にする。				・事務局の調整・庶務, 教育情報の共有 ・事務局の基本計画の作成 ・幼稚園保育料に関すること						
	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組 内容	○幼稚園保育料収納率の向上			・事務局の調整・庶務, 教育情報 の共有 ・事務局の基本計画の作成 ・幼稚園保育料の賦課, 徴収 ・教育審議会(学校の規模の適 性化)の開催			⇒			・事務局の調整・庶務, 教育情報 の共有 ・事務局の基本計画の作成 ・幼稚園保育料の賦課, 徴収 ・幼稚園就園奨励費補助事業		
直接 事業費	決算額	167,090	千円	決算額	130,910	千円	決算額	143,608	千円	決算額	141,162	千円
	うち 一般財源	165,285	千円	うち 一般財源	129,874	千円	うち 一般財源	141,397	千円	うち 一般財源	139,734	千円

15	学校給食業務												
事務事業の目的						事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
児童・生徒・教職員		心身の健全な発達に資するため安全でおいしい給食を提供する。				学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に役立ち、市民の食生活の改善につながることを十分認識し、より安全でおいしい給食を提供するよう、学校給食の充実を図っていく。また学校給食についての理解を深めてもらえるように、概ね月2回の学校訪問、試食会等を実施する。							
	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			
取組内容	・ホームページの充実 ・職員に対する研修会の実施 ・納入業者や関係各課との情報交換 ・退職者不補充による業務実施			⇒			⇒			⇒			
直接事業費	決算額	59,875	千円	決算額	59,817	千円	決算額	62,285	千円	決算額	67,234	千円	
	うち一般財源	53,321	千円	うち一般財源	52,916	千円	うち一般財源	55,987	千円	うち一般財源	60,767	千円	

<3.施策の直接事業費(2の合計)>

平成23年度				平成24年度		平成25年度		平成26年度	
直接事業費	1,001,367	千円		1,194,363	千円	1,185,555	千円	1,073,823	千円
うち一般財源	763,987	千円		647,590	千円	641,506	千円	671,521	千円

<4.指標>

指標名				目標・実績の推移					
				H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H29目標
1	1校当たりのいじめの認知件数(小学校)	単位	目標				0.15	0.12	0.05
		件	実績	0.70	0.30	0.27	0.20	0.20	
			達成率				75.0%	60.0%	
2	1校当たりのいじめの認知件数(中学校)	単位	目標				1.2	1.2	1.0
		件	実績	0.6	0.4	1.2	0.3	0.6	
			達成率				400.0%	200.0%	
3	不登校児童の出現率(小学校)	単位	目標				0.20	0.15	0.00
		%	実績	0.76	0.83	0.28	0.43	0.22	
			達成率				46.5%	68.2%	
4	不登校児童の出現率(中学校)	単位	目標				2.50	2.20	1.70
		%	実績	2.95	1.69	3.00	2.68	1.90	
			達成率				93.3%	115.8%	
5	県学力状況調査の4教科平均正答率	単位	目標				52.9	60.0	65.0
		%	実績	—	59.0	60.6	52.8	58.6	
			達成率				99.8%	97.7%	
6	県学習状況調査で「自分にはよいところがある」と感じている割合	単位	目標				71.3	75.0	85.0
		%	実績	—	73.7	79.5	71.3	76.6	
			達成率				100.0%	102.1%	
7	県学習状況調査で「将来の夢や目標をもっている」と感じている割合	単位	目標				86.6	87.0	93.0
		%	実績	—	83.9	88.9	86.6	88.3	
			達成率				100.0%	101.5%	
8	学校施設の耐震化率	単位	目標				77.9	89.6	100.0
		%	実績	56.0	61.0	68.8	77.9	89.6	
			達成率				100.0%	100.0%	

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント	対応・回答
・教育環境の充実、ひとえに教員の資質向上にかかっており、積極的な研修への参加が望まれます。	→ 岡山県が実施する研修とともに、笠岡市独自の研修を行い、若手パワーアップ研修(35歳以下教員等)をはじめ、各種研修に著名な講師を招いて参加意欲を高め、実践的な研修に努めています。
・今後、教職員が多く定年で退職し、新任教員が入ってくると言われているが、新任教員の教育を充実していただきたい。	→ 各学校で行う新採用教員の研修を充実させるとともに、市教委も年2回の学校訪問と新規採用教員報告会、若手パワーアップミニ研修会等を開催し、新採用教員の研修に努めています。
・学ぶことが楽しいと児童・生徒が思う授業に努め、将来困らないよう基礎学力は身につけるよう努めてほしい。	→ ・今年度も、笠岡市「確かな学力」育成プロジェクトを核として、基礎基本の定着を目指した取組を推進します。

＜6.平成26年度の振り返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B
--------	--	----------

＜7.施策の課題と改善案＞

課題と改善案	各事業とも順調に進行しており、その一定の成果が表れてきている。学力向上や不登校の問題もわずかずつではあるが、成果が見られる。今後、子どもたちが安心して学習できる環境を推進していくために、特に次の点を推進していきたい。 ・授業改善を進めるために、教員の研修をさらに充実させる。また、ICT活用や小学校英語、道徳など新たな教育課題についての研修も取り組む。 ・保・幼・小・中が連携して教育を行うために、中学校ブロックで協議し、ブロック内の課題をさらに明確にし、具体的な取り組みを進める。
--------	---

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果 (前期4年間の総合評価)	B
コメント	・ICTを利用した英語教育等の自己学習ソフトウェアの導入も検討することにより、より効率的な教育も考えられます。 ・今後、小学校等の統廃合があるということであるが、市民の皆さんの納得のいくように周知・説明するようしていただきたい。 ・栄養教諭を今後新卒で募集し、学校給食、食育活動に活かしていただきたい。新卒の栄養教諭は、新しい知識を持ち、しかも管理栄養士の資格を持っている方が多いためである。 ・子どもの成長には、保幼小中の連携が大切である。一人ひとりの子どもに目を向け、指導力の向上に努められたい。保護者との連携も密に努力されたい。 ・統廃合されて使用されなくなる学校も耐震化工事をされているが、せっかく耐震化された校舎をむだにしないようにしていただきたい。			